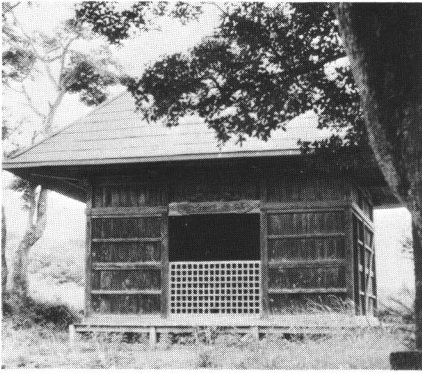


一族の円谷観音、岡部一族の岡部観音、日照田観音が一緒に祀られてある。

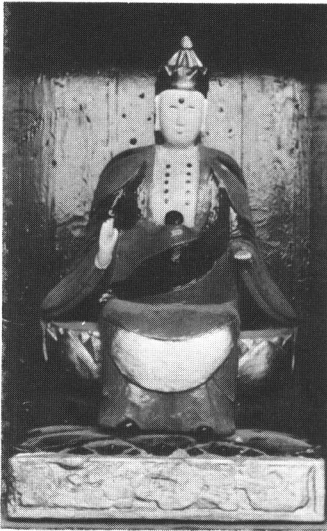
安藤観音に附属した掛軸があり、代々安藤家の宝物として今に残っている。観音様の祭は、旧正月十七日と三月十七日で、とくに三月十七日には、見世物小屋がかかり、大変にぎわったという。この管理は屋敷の女年寄が前日より集り準備した。

子安観音なので、安産祈願と子育祈願のために、各地から多数の参詣人が集まった。子供が丈夫に育つようにと産着を借りて行く人があり、また丈夫に育つとお礼のために産着を上げた(奉納)ものである。御堂建立の時、魔除のために植えられたという。ひいらぎの木は、当地方に稀な大木となって、その年月を物語っている。

(話者 円谷 実)



子安観音堂



子安観音像